

第1学年*組 英語科学習指導案

指導者 T1 教諭
T2 教諭
T3 ALT

授業の視点	I C T機器で動画を見ながら現在進行形で表現する練習を行い、実際の使用場面への理解を深め、外国語表現の能力を高める指導の工夫。
-------	--

1 単元名 Unit 9 チャイナタウンへ行こう (東京書籍)

2 目標

- 目の前の状況について、尋ねたり伝えたりしようとしている。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 今していることについて話したり、相手に何かを禁止したり、注意を促したりすることができる。
(外国語表現の能力)
- 対話を聞いて、誰が何をしているのかを聞き取ったり、掲示や看板が表す意味を理解したりすることができる。
(外国語理解の能力)
- 現在進行形の文や、否定の命令文とbe動詞で始まる命令文の形・意味・用法に関する知識を身に付けている。
(言語や文化についての知識・理解)

3 指導に当たって

本単元ではチャイナタウンに来ている生徒たちの様子をベーカー先生がビデオ撮影をしながら実況中継している場面から始まる。I C T機器を利用し、本教材同様に部活動の様子の動画を提示することで、現在進行形が今、行われている動作について説明する表現であることを理解することができる。

本学級の生徒は、分からないところを教え合ったり、仲良くペアやグループで活動したりして、真剣に学習活動に取り組むことができる。アンケートの結果から、英語で書く活動、話す活動を好んでいることが分かる。また、話すことを苦手と感じている生徒が少なく、発表することを苦手としている生徒が多い。これは、全体の場での発表は緊張したり、自信がなかったりすることから苦手と感じていると推測できる。レディネステストの結果から本時の目標とする現在進行形の使用に必要なbe動詞の使い分けが十分に理解できていない生徒がいることが分かる。現在進行形の指導と共に、タブレットを用いてクイズ形式で復習させ、関心や意欲を高めたい。

本時は現在進行形の学習の第2時である。事前に録画しておいた部活動の様子をタブレットで示しながら実況中継をするという場面を設定して外国語表現の能力を高めることを目指す。ここではペアで1台のタブレットを使用し、繰り返し動画を見られるようにする。目の前で起きている状況を現在進行形を使って表現する練習を何度も行い、現在進行形の表現に慣れさせたい。また、最後に電子黒板を利用して、大きな画面で動画を視聴しながら発表することでより臨場感を味わわせたい。

アンケート (H. *. *. *)				
実施人数 男子12人 女子17人				
1 英語で好きな活動				
聞く	話す	発表する	書く	読む
*人	*人	*人	*人	*人
2 英語で苦手な活動				
聞く	話す	発表する	書く	読む
*人	*人	*人	*人	*人
3 ペアやグループでの活動は役に立つ				
そう思う	どちらかと言えば思う	どちらかと言えば思わない	その思わない	
*人	*人	*人	*人	
4 3の理由				
<ul style="list-style-type: none"> ・教え合える・いろいろな意見が聞ける ・コミュニケーションが楽しい ・聞いたり話したりする力がつく ・実際の会話の練習になる 				

レディネステスト	
be 動詞の使い分け	正答
Ms.Baker (is) an English teacher. 誤答 am *%, are *%	*%
Saki and Deepa (are) girls. 誤答 am *%, is *%	*%
They (are) good friends. 誤答 am *%, is *%	*%

4 指導計画及び評価計画 (6時間扱い)

次	時	学習の内容及び学習の流れ	評価の規準
1	1	中華料理店でベーカー先生が生徒の様子を撮影しながら描写している英語を読む。	現在進行形の意味を理解し、中華料理店での様子を描写している内容がわかる。 (言語や文化についての知識・理解)
	2	部活動の動画を見ながら、誰が何をしているところか説明する。	現在進行形を用いて今していることについて説明することができる。 (外国語表現の能力)
2	1	チャイナタウンで伝統芸能の変面を見ている場面を読む。	現在進行形の疑問文を理解し、中国の伝統芸能についての会話を理解できる。 (外国語理解の能力)
	2	何をしているところか尋ねたり、答えたりする活動をする。	現在進行形を用いて今していることについて尋ねたり、答えたりすることができる。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
3	1	中国の文化に興味を示した光太に、マイクが漢字のクイズを出している場面を読む。	否定の命令文とbe動詞で始まる命令文の意味を理解し、マイクが光太にクイズを出す様子が分かる。 (言語や文化についての知識・理解)
	2	否定命令文とbe動詞で始まる命令文を用いて相手に禁止したり、注意を促したりする活動をする。	否定の命令文とbe動詞で始まる命令文を用いて相手に何かを禁止したり、注意を促したりすることができる。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

CAN-DOリストの形での学習達成目標 (第1学年)

話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと
初歩的な語彙や表現などを用いて、自分自身のことや体験したことなどについて発表したり、短い会話をしたりすることができる。	初歩的な語彙や表現などを用いて、自分自身のことや体験したことなどについて、英文のルールに従って3文以上書くことができる。	初歩的な語彙や表現での会話、自己紹介、放送などを聞いて、主な内容を聞き取ることができる。	初歩的な語彙や表現で書かれた文章や物語を読み、その主な内容を読み取ることができる。

5 本時の学習

(1) 目標

○ 現在進行形を用いて今していることについて説明することができる。 (外国語表現の能力)

(2) 準備・資料 電子黒板, パソコン, タブレット, ワークシート, 辞書

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価	
	JTE (T1 / T2)	ALT(T3)
1 タブレットでKahoot!のクイズに答えて、前時の復習をする。 【タブレット】	クイズ形式で楽しみながら現在進行形の復習をさせる。 【電子黒板・教師用パソコン】	
2 学習課題を確認する キーナ先生に英語で部活動の様子を紹介しよう。 JTEとALTの会話を聞き、学習課題を知る。	放課後の活動について話し、Today's Goalを確認させ、学習の目標を明確にする。	部活動の様子を見たことがないので知りたいと生徒に伝え、生徒の関心・意欲を高める。
3 部活動の動画を見ながら、誰が何をしているのかを紹介する英文を作る。 (1) 例として電子黒板に提示した動画を見ながら誰が何をしているのかを紹介する英語を言う。 Mr. Kobayashi is using the computer. Ms. Sato is calling. Ms. Matsuda is copying.	動画を見ながら、現在進行形を使って、職員室の様子を描写し、本時の活動を確認できるように指示する。 【電子黒板・教師用パソコン】 例の中で使った英語から本時の活動に必要な表現と現在進行形の文を黒板に表示する。進行形の作り方を確認する。 タブレットの操作に遅れがちなペアに対して個別に支援する。 動作をしている様子を意識させ、現在進行形を使った英文になるように留意させる。 書けない生徒には、一緒に動画を見ながら生徒に主語を決めさせてbe動詞を示す。または主語を提示してbe動詞を選ばせ、動詞の語尾にingを付ける指導をする。	表示された英文、進行形の語を範読する。 未習の語や発音などの質問に答え、発表に不安がないように指導する。
(2) 4人グループで紹介する部活動を決める。ペアで動画を見て、誰が何をしているのかを紹介する英文をなるべくたくさん書く。【タブレット】 Chiharu is playing the trombone. Kokono and Itsuki are talking. Rino is using the metronome.	タブレットの操作に遅れがちなペアに対して個別に支援する。 動作をしている様子を意識させ、現在進行形を使った英文になるように留意させる。 書けない生徒には、一緒に動画を見ながら生徒に主語を決めさせてbe動詞を示す。または主語を提示してbe動詞を選ばせ、動詞の語尾にingを付ける指導をする。	原稿を読むのではなく、人に伝えることを意識させる。
(3) グループ内で発表の練習をする。 グループ内で発表の様子を撮影し合って、より良い発表ができるようにする。【タブレット】	役割分担を確認しながら、発表の練習をするように指示する。	発音などの質問に答え、発表に不安がないように指導する。
4 グループごとに発表をする。 (1) 動画に合わせて部活動の様子を紹介する。 【電子黒板・教師用パソコン】 This is our soccer team. Haruki is kicking a ball. Shingo and Ryo are running. They are practicing soccer very hard.	相手意識をもって発表するように助言する。 ⑤ 現在進行形を使って、今、何をしているところか説明することができる。 (発表：外国語表現の能力)	
(2) キーナ先生からの質問に答えたり、コメントをもらったりする。	現在進行形が正しく使えていない生徒には、be動詞を選ばせる、動詞の語尾にingを付けさせるなどの指導をする。	生徒の発表を聞き、質問をしたり、コメントを言ったりして、達成感を味わわせる。
5 本時のまとめをする。 ワークシートにまとめを書く。	何人かの生徒のワークシートを撮影して電子黒板に表示し、参考にできるようにする。【教師用パソコン・電子黒板】	